

平成24年8月28日

各チーム監督 殿

秋田県ラグビーフットボール協会
スクール委員会 夏井 秀樹

第41回全県少年ラグビーフットボール大会および
第35回秋田県スポーツ少年団ラグビーフットボール大会競技規則の確認について

今大会のスクラムについては、26日の指導者会議で、日本協会から6月4日付で出されている通達に基づきミニラグビーにおいても3段階での組み合わせで行うと確認しておりましたが、8月25日に日本協会から出されたU-12ミニラグビー競技規則の改訂(通達)で以下ようになっておりました。

指導者の皆様には、ご迷惑とお手数をかけますが、スクラムの組み合わせについては、昨年同様4段階での組み合わせとすることを周知願います。

1. スクラム

今回の通達により高学年のスクラムは、以下のように行う。以下通達文

「スクラムを組み合わせる際、相対する双方のフロントローと目を見つめさせ、双方のフロントローは左右の足の位置をフラット(前後しない)にして、腰を落とし組み合わせ準備の姿勢を取らせる。レフリーはこの姿勢を【クラウチ】のコールで確認し、【タッチ】のコールで相手の上腕に軽く触れさせる。【ホールド】のコールで相手をつかんだまま静止状態を維持させ、その後穏やかに組み合わせ【エンゲージ】。

その際、お互いのフロントローのうち、左プロップは、左手を相手フロントローの右腕の内側に、右プロップは、右手を相手フロントローの左腕の外側になるようにして、相手フロントローのジャージの背中または脇をつかむ。」

通達文からスクラムは、昨シーズンと同様です。

以 上